

---

# とある砂漠にて～その壺～

翠川剣

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

とある砂漠にて〜その昔〜

### 【Nコード】

N7190B

### 【作者名】

翠川剣

### 【あらすじ】

麦藁色むぎわらいろの砂が、大地に隙間なく埋められていました。それは長い間この土地が、不毛の砂漠であったことを表す証拠でした。不毛な砂漠の中に、錫色の建物がありました。それは自然の摂理に逆らうように、違う色を砂漠にもたらしていました。

むぎわらいろ  
麦藁色の砂が、大地に隙間なく埋められていました。

それは長い間この土地が、不毛の砂漠であったことを表す証拠でした。

不毛な砂漠の中に、錫色の建物がありました。

それは自然の摂理に逆らうように、違う色を砂漠にもたらしていました。

「いやあ、助かったよ。君がいなかったら死ぬところだったよ」

赤茶色の作業服を着た男は、先程自分を襲おうとした男の死体を見ながら苦笑した。

「彼が僕を殺そうとしたから、殺したんです。だから僕に礼など必要ありませんよ」

白いロープを頭からすっぽりと被った旅人らしき人物も苦笑した。

男は建物の残骸に座り、タバコとマッチを取りだし一服した。

旅人は立ったまま珍しそうに建物を見つめていた。

「この建物は何ですか？」

旅人は、建物の外壁に描かれた幾何学模様を見ながら尋ねた。

建物の外壁には、青白く光る幾何学模様が、所狭しに描かれていた。

「あんたも聞いたことくらいあるだろ？これが遺跡だ。

それもただの遺跡じゃない、【アエリア級】の遺跡だ」

「あえりあ級ですか？」

「あっそうか一般人の間では遺跡の区別なんてつけないよな。アエリア級って言うのは、遺跡の探求者の間の専門用語なんだよ。この呼び名によって遺跡の重要度を表すんだ。アエリア級は六段階評価のうち二番目だ。これが全て発掘されれば、世界はまた一段と進歩するはずだ」

男は箱から、タバコを取り出すとマッチで火をつける。

男の周りには、光りと熱を失ったタバコが麦藁色になっていた。

「じゃあ貴方は、この遺跡を調査しているのですね。

遺跡の調査は、膨大な知識と時間を要すると聞きます。辛くはないですか？」

「辛くないのかと聞かれると、正直辛いよ。でもな、遺跡を自分の手で解明するというのが、ガキの頃からの夢なんだよ。だからよ、今その夢がかなって嬉しいんだ。俺はこの先どんな困難なことがあるうとも、遺跡の調査を続けるぜ」

男の目は、呆れるくらいに輝いていました。

「なるほど。貴方は遺跡を調査し続けるんですね」

「そうだ。それが俺の夢だからな」

旅人は腰につけたある黒革のホルスターに収まった、リボルバー回転式拳銃をホルスターから抜いた。男の表情に変化は見られません。

「どんな困難が立ち塞がったとしても、貴方はここを調査し続けるんですね？」

「そつだ、俺は一生ここで遺跡を調査して、生きて死ぬんだ」

旅人はリボルバーのトリガーに手をかけた。男の瞳は濁る事無く輝いていた。

「遺跡を調査するんでしたら、ちゃんとした手順を踏むべきでしたね。」

国の役人を皆殺しにして、勝手に調査するのは違反ですよ。私は護衛として雇われた身分です。貴方を反逆者として殺さねばなりません」

麦藁色の死体の山を背にした旅人は、真っ直ぐな目で男の瞳を見ました。

男の黒い瞳は、麦藁色の砂漠の中で輝いていました。

「国から遺跡を調査に依頼された輩は、全部殺したつもりだったんだけどな。」

まさか君みたいな強い人が生き残っているなんてね、残念だな」

「僕も残念です」

「……最後に君と話が出来て楽しかったよ」

旅人はトリガーを引きました。銃口から吐き出された鉛の塊は、返り血でべつとりと

汚れて赤茶色になった作業服に、小さな穴を開けました。

穴からは赤い、紅い液体が流れてきました。

しばらくすると液体は砂を含み、やがて麦藁色になりました。

旅人は男の為に砂を被せただけのお墓を作りました。麦藁色の墓で

した。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7190b/>

---

とある砂漠にて～その壺～

2010年10月12日02時46分発行